

設定と起動 [Nov. 2001改訂(青文字表記)]

0. Windowsの表示を変える.

- マイコンピュータの表示メニューでWebページのチェックを外す.
- 表示>フォルダオプション:全般で,
『従来のWindowsスタイル』を選ぶ.
- 表示>フォルダオプション:表示で,
『登録されているファイルの拡張子は表示しない』のチェックを外す.
『すべてのファイルを表示する』をチェックする.
- 表示>詳細を選ぶ. 多数の長い名前をもつファイルを一覧できる.

注:MS-DOSでは円記号(¥:英語ソフトでは右下がりスラッシュ=半角の\)にWindowsのフォルダ名をつけたものが、(サブ)ディレクトリと呼ばれ、ファイルの置かれたドライブの仕切りを表す [C:¥GMT¥bin¥pscoast.exeは、CドライブのGMTディレクトリの中のbinサブディレクトリにある pscoast.exeというファイルを意味する]. MS-DOS/Windowsでは大文字・小文字は区別されない. GMT/Unix/cygwinは厳密に大文字・小文字を区別する.

1. 解凍

- ◎GMT_exe.zip をWinzipで開き、すべてを選択して C:¥ に解凍する.
以下、GMT_share.zip, GMT_suppl_exe.zip, GMT_web.zip,
GMT_full.zip, GMT_high.zipをすべて C:¥ に解凍する.
copyingというファイルを上書きして良いか尋ねられたら、すべて上書きOK.

- ◎解凍されたファイルはC:¥GMTというディレクトリ(フォルダ)に入る.
ディレクトリとファイル構成は以下のとおり.

```
C:¥GMT¥bin¥
C:¥GMT¥lib¥
C:¥GMT¥share¥
C:¥GMT¥src¥
C:¥GMT¥www¥
C:¥GMT¥gmtcommand
```

- ◎netcdf-3.5_win32bin.zip はC:¥NETCDFというディレクトリを作成して
そこに解凍する. ディレクトリ名は半角英数文字で正確に.
ディレクトリ構成は以下の通り.

```
C:¥Netcdf¥bin
C:¥Netcdf¥lib
C:¥Netcdf¥include
```

2. ファイルの移動・確認

- C:¥GMT¥src¥gmtenv.bat を C:¥GMT に移す.
(ファイルを選んでコピー、Gmtフォルダを開いて貼り付け).

エディタで C:¥GMT¥gmtenv.bat を開く.
29—31行目(REMなし行)のディレクトリが解凍したファイルの配置と同じか確認.
ディレクトリ(フォルダ)名を上記以外に設定した場合は、右辺を変更すること.

```
SET NETCDF=C:¥NETCDF
SET GMTHOME=C:¥GMT
SET HOME=C:¥GMT
```

3. 基本設定

C:¥GMT¥share¥gmt.conf をエディタで開いて(ドラッグ&ドロップか開く),
一行目の最初に半角大文字で『SI』と入力して上書き保存する. SI単位系に設定.
もし見つからなかったら, 『SI』とだけ書いたファイルをC:¥GMT¥share¥gmt.confとして作成・保存.

C:¥Windows¥Dosprompt のコピーを作ってデスクトップに置く. 右クリックでプロパティを選び設定.
プログラム>コマンドライン : C:¥WINDOWS¥COMMAND.COM
作業ディレクトリ: C:¥GMT
バッチファイル : gmtenv
メモリ>環境変数の初期サイズ: 4096
このショートカットの名前を例えば『GMTstart』に変更する.

4. 起動!

デスクトップの『GMTstart』をダブルクリックする. 上の設定ができていれば,
(下から2行目)GMT3.3 Environment initialized が表示されて準備完了.

Windowsの スタート>プログラム>MS-DOSプロンプトで, DOSを起動した場合
以下のコマンド(黄色の文字)を入力する. Type inしてリターン.

```
Microsoft(R) windows 98
(C) Copyright Microsoft Corp 1981-1998.
```

```
C:¥Windows> cd ¥
C:¥> cd ¥gmt
C:¥Gmt>gmtenv
C:¥Gmt>ECHO OFF
GMT3.3 Environment initialized
C:¥Gmt>pscoast
```

いずれにしても, GMT3.3 Environment initializedが出たら準備完了.

C:¥Gmt> pscoast と入力してみる.

画面にpscoastコマンドのオプションが一気に表示されたらOK.
[止まった画面に, -P, -Q, -S, -Uなどのオプションの説明が英語で並んでるはず.]

★★★単位をSI単位系に設定★★★★★★★★★ NEW ★★★★★★★★★★★★★★

C:¥Gmt> gmtset PAPER MEDIA a4+ と入力(これで出力をEPSに設定できる).
C:¥GMT¥gmtdefaults が作成される.

C:¥GMT¥.gmtdefaults をエディタで開いてみる.

ファイル名がドット "." で始まっていることに注意. Windowsの表示や, メモ帳でこのファイルを
別名で保存したり移動したりすることはできない. 秀丸エディタならできる. あるいはcygwin で名前を変える.

MEASURE_UNIT cm PAPER_MEDIA a4+ であればOK

MEASURE_UNIT inch の場合その他のパラメータもすべて inch 単位だ. その場合,
SI単位系の .gmtdefaults_SI ファイル[gmtdfmts.zip]をここからダウンロード,
解凍し, 中のファイル(.gmtdefaults_SI)を C:¥GMT におく. エディタを閉じる.

C:¥GMT¥.gmtdefaults を C:¥GMT¥.gmtdefaults_SI でおきかえる. 別名で保存か,
C:¥GMT> ren .gmtdefaults .gmtdefaults_US
C:¥GMT> ren .gmtdefaults_SI .gmtdefaults

C:¥GMT¥.gmtdefaults をエディタで開いてみる. あるいは C:¥Gmt>gmtdefaults -L
MEASURE_UNIT cm PAPER_MEDIA a4+ を確認

home.hiroshima-u.ac.jp/

kojiok/

wingmt/

gmtdfmts.zip

5. トラブル発生！！**■ netcdf.dllがみつからない??**

C:¥Netcdf¥bin¥netcdf.dll を C:¥Netcdf¥lib にコピーする.
(ファイルを選んでコピーC:¥NETCDF¥libフォルダを開いて 貼り付け).
Windows2000では netcdf.dll を ¥GMT¥bin¥ に置く必要があるらしい(未確認).

■ gmtenv入力で、『環境変数が...』、『メモリーが...』というエラーメッセージが出て、initializeができない:

◎ MS-DOSのプロパティを, 上の基本設定どおりかチェック. 設定を確認してDOSを再起動.

■ pscoast が起動しない. 『コマンドまたはファイル名が違います.』

◎ gmtenv は実行されているか? 必要なファイルが解凍され, 適切なディレクトリに配置されているか?
◎ C:¥GMT¥bin¥pscoast.exe のディレクトリに間違いはないか(英数半角)? 確認.

■ pscoast が起動しない. 『このプログラムを実行できません.』

◎ C:¥GMT¥.gmtdefaults, C:¥GMT¥.gmtcommands のプロパティをしてみる.
読みとり専用, アーカイブのチェックを外す.